

○東海地区PCB廃棄物処理の見込み

2021年1月31日現在

区分	2021年1月末現在の未搬入量					処理計画(※5)			(参考) 2020年4月1日～ 2021年1月31日 搬入量(実績)	
	未搬入量(残存量)の内訳					2020年度 (令和2年度 2月・3月分)	2021年度 (令和3年度)	計画的処理完了期 限 2022年度 (令和4年度)		
	① 2021年1月末 JESCO登録 未搬入量(※1) (保管中・使用中)	② 特措法届出・ 未登録(※2) (保管中)	③ 電事法届出・ 未登録(※3) (使用中)	④ 掘起見込量 (※4) (保管中・使用中)						
変圧器類	台	79	47	24	2	6	17	62	—	64
コンデンサー類	台	2,748	2,169	473	71	35	624	2,124 ※9	—	1,814
PCB油類	本	346	319	※6 27	—	— ※8	37	309	—	313
	kg	22,222	21,492	※6 730	—	— ※8	10,960	11,262	—	36,298
保管容器	箱 (缶)	697	697	— ※7	—	— ※8	11	※10 686 ※11	—	324

【留意事項】

- ※1 JESCO登録未搬入量は、2021年1月31日現在、JESCOに登録があるが未搬入の量を記載。【搬入ベース】
- ※2 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2019年3月(平成30年度)末データ)
- ※3 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(2019年3月(平成30年度)末届出)
- ※4 各自治体で掘り起こし調査の実績等から算出。(2020年3月(令和元年度)末)
- ※5 令和3年2月以降の処理計画は、JESCOが営業活動等により把握している年度ごとの搬入予定量を計上。
- ※6 本数または重量のいずれかで計上しています。
- ※7 容器のみの保管事例が少なく、届出情報から保管容器の抽出が困難なため計上なし。
- ※8 北九州地域の集計が無く、掘り起こし調査で発見されることが稀であるため計上なし。
- ※9 JESCO登録事業場のうち交渉難航事業場のため、処理時期が未定のコンデンサー168台は2021(令和3)年度に配分。
- ※10 処理困難物である泥状物が付着したスクラップ状ドラム缶547缶は2021(令和3)年度に配分。
- ※11 JESCO登録事業場のうち交渉難航事業場のため、処理時期が未定の保管容器4箱は2021(令和3)年度に配分。

2021(令和3)年度は処分期間の最終年度であることから、これに向けて上表①②③の事業者数を時点時点(例:毎月末)で把握し、4県7市とJESCOで共有する体制を構築していく。